

～自治会を訪ねて～

みすみく

「三角区」

三角区自治会は16世帯、会員14世帯の神興東小学校区では最も小規模の自治会です。三角区では週2回の燃えるごみの日には倉庫に入れてゴミ出しをします。収集車がゴミを運んで行ったあと、1週間ごとの当番が掃除をしてきれいにします。この当番は自治会に入っていない方もしています。また、月1回の不燃物の収集日には三角公園に集まり、会員全員で協力して作業を行っています。

市一斉の防災訓練では公園に設置の消火用器具を使って初期消火の訓練をしています。少人数の良さを活かして全員ができるように訓練しています。しかし、どの地区でも言えることだと思いますが地区の高齢化が進み役員のなり手が少なくなっているのが課題です。

三角区自治会長：國分 美喜雄



三角公園



上：メイン通り
左：ゴミ集積場

「通り堂区」

通り堂には定礼公園があります。小さな公園ですが、大きな偉業があります。

国民健康保険制度発祥の地となった神興共立医院跡地の事です。

江戸時代から凶作による収入の不安定な農民の医療体制に医者や地域の住民達は思案の末、収入に応じて医者にお米（後にお金）を保険的に渡すことに致しました。

お互いに助け合っていく方法を「定礼（常礼）」と言っていました。

1935年内務省（現厚労省）が健康保険の検討を開始することになり、神興共立医院を視察し1961年7月に我が国独特の世界にも前例のない国民皆保険制度が誕生致しました。

とても誇らしく感じる、隣人愛に基づいた農村医療の始まりを1人でも多くの方に語りついでいきたいと思ひます。

通り堂区自治会長：森山 功一



定礼公園

「若木台六区」

若木台六区は神興東校区で1番世帯数の多い区域です。

若木台六区では、かいがら公民館に、毎月第2・第4月曜日に、肉・野菜・花など生産者直売所の“あんずの里”から来ていただき、“ふれあい市場あんずの里市”を行っております。ご高齢の方から若い方まで大変喜ばれています。

また、去年8月より、あんずの里市の買い物前後にお茶やお菓子をたべながら、おしゃべりを楽しむ『にっこりサロン』も始めました。子どもたちにも喜んでもらえるよう、様々な行事を、皆で楽しく行っております。

子ども達にとっても本当のおじいちゃんおばあちゃんのように見守ってくれるお年寄りが多いのも六区の自慢です。

写真は、かいがら公民館にてあんずの里市の様子とクリスマス会を楽しむ様子です。

若木台六区自治会長：篠崎 愛理



あんずの里市風景



クリスマス会の様子